

令和6年度
矢掛町地方創生関連交付金事業等
の検証について

令和8年2月6日

令和6年度矢掛町地方創生関連交付金事業(その①)

事業の名称	開始年度	終了年度	内容
①次世代型販わい創出基盤づくり地域創造事業 (継続事業)	令和4年度	令和8年度	かわまちづくり事業
②矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業 (新規事業)	令和6年度	令和7年度	やかげ町アウトドアビジターセンター 実施設計、やかげ町アウトドアビジ ターセンター建築工事等
③広域連携拠点施設(熱利用施設)整備事業 (新規事業)	令和6年度	令和8年度	岡山県西部衛生施設組合(構成市町: 笠岡市, 井原市, 浅口市, 里庄町, 矢 掛町)が整備した新ごみ焼却場の焼 却熱を利用した施設(温水プール等) 建設工事
④矢掛町まち・ひと・しごと創生推進事業 (企業版ふるさと納税の活用)	令和2年度	—	企業版ふるさと納税の活用事業

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

【申請者】 矢掛町

【事業期間】 令和4年度～令和8年度

【事業目的】

既存の道の駅と商店街に加えて、新たな魅力として自然環境を活かしたアウトドア施設の整備とコンテンツ開発及びブラッシュアップをすることで、誘客の拡大と周遊につなげる。

また、観光周遊をさらに加速化するためのデジタルシステムを活用し、地域全体の賑わい創出を図る。

【実施内容】

- ① アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり、賑わいづくりの創出
- ② 道の駅周辺可能性調査・計画策定・商品開発・人材育成などの取り組み
- ③ 道の駅周辺一体化賑わい施設基盤整備事業

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

①アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり, 賑わいづくりの創出

周遊促進を加速させるために、デジタルツールの活用によるオンライン施設予約システム および電子チケットシステム等を実装したデジタルツール開発・運用及び取得したデジタルデータを収集蓄積し、整理、分析等の仕組みについて実証実験を実施した。

具体的には、矢掛町美川地区にある「桃源郷はなしの里」において、「手ぶらでキャンプ」を企画実施し、オンラインでの予約やデジタルクーポンの活用により、動向調査やサービス提供についてのアンケート調査を行った。



桃源郷はなしの里での「手ぶらでキャンプ」の様子



①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

①アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり、賑わいづくりの創出

■「手ぶらでキャンプ」の詳細内容

桃源郷はなしの里のキャンプサイト4区画を活用し、初心者が簡単にキャンプが楽しめるプラン「手ぶらでキャンプ」(1サイト5,000円)を試験販売し、アンケート回答いただいた利用者には町内の店舗で使用できるデジタルクーポン「矢掛魅力体験チケット」(2000円分:500円券×4枚)を配布し、アウトドアの体験と町内周遊についての実証実験を実施した。「手ぶらでキャンプ」は、宿泊に必要なテントや寝袋などのキャンプ用品やバーベキューコンロなど調理道具がセットになっており、利用者の希望に応じて食材も購入いただけるプランを用意した。

【実施期間】 令和6年9月16日～令和6年11月30日(76日間)

【手ぶらでキャンプ利用実績】 92件(288人)

【クーポン取扱店舗】 12店舗

【クーポン発行枚数】 352枚

【クーポン利用枚数】 306枚



体験チケット参加店舗表示

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

①アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり, 賑わいづくりの創出

■周遊促進の取り組み

- 情報発信・利用促進プロモーション キャンペーンHP, SNS広告, WEB記事
- 関係団体との連携 キャンペーン協力施設及び店舗との連携
- デジタルツールの定着と浸透 職員セミナーの開催



キャンペーンサイト(PC)



職員セミナー

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

②道の駅周辺可能性調査・計画策定・商品開発・人材育成などの取り組み

令和8年度開業予定のアウトドア施設の開業に備え、矢掛町が有するアウトドアの魅力を来訪者に発信することのできる人材発掘と養成のため、矢掛町内の山域を活用した「矢掛町におけるトレッキングインストラクター養成に向けた体験・講習会」を実施した。



体験会



講習会

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

②道の駅周辺可能性調査・計画策定・商品開発・人材育成などの取り組み

■体験・講習会の詳細内容

【実施期間】 令和7年2月23日～令和7年2月24日(2日間) 9:00～17:00

【会 場】 ○体験会 鷲峰山 ○机上・実技講習会 やかげ文化センター視聴覚室

【参加人数】 15名(町内 13名 町外 2名)

【実施内容】 ○体験会(現地講習)

実際のトレッキングツアーをゲストの立場で体験していただきながら、インストラクターの仕事の魅力を伝える。

○講習会(机上講習・実技講習)

インストラクターとしての心構えや必要な知識と技術、
ガイドングのポイントを伝える。

【参加費】 無料 ※教材テキスト代、交通費などは自己負担

【募集期間】 令和7年1月6日～令和7年2月4日

【募集方法】 告知チラシ各戸配布(町内約5,000世帯)

モンベル直営店舗に告知チラシ設置

The poster is for a Mont-Bell event in Yagake Town. It features the Mont-Bell logo at the top right. The main title is 'Yagake Town Trekking Instructor Experience & Training Event'. The event is split into two days: Day 1 (Feb 23, Sun) for an experience at Rujōsan, and Day 2 (Feb 24, Mon holiday) for a training session. It lists a free participation fee, a limited number of spots (12), and a QR code for registration. Contact information for the Yagake Town Chamber of Commerce is provided at the bottom.

mont-bell 監修

矢掛町
トレッキングインストラクター
体験・講習会

Day 1 R7.2.23 (日) 9:00-17:00
体験会at鷲峰山(予定)

Day 2 R7.2.24 (月・祝) 9:00-17:00
講習会

今後矢掛町において、
トレッキングインストラクター
として活躍を考えている方に
ぜひ参加してもらいたい
体験・講習会です。

参加費無料 (募集定員 12名)
※参加上限を超えた場合は町内在住者優先で
抽選を行います。

申込は左記フォームから
(締切: R7.2.4)

【お問い合わせ】
矢掛町産業観光課
電話0866-02-1016

①次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業

●具体的な実施内容

③道の駅周辺一体化賑わい施設基盤整備事業

■事業内容

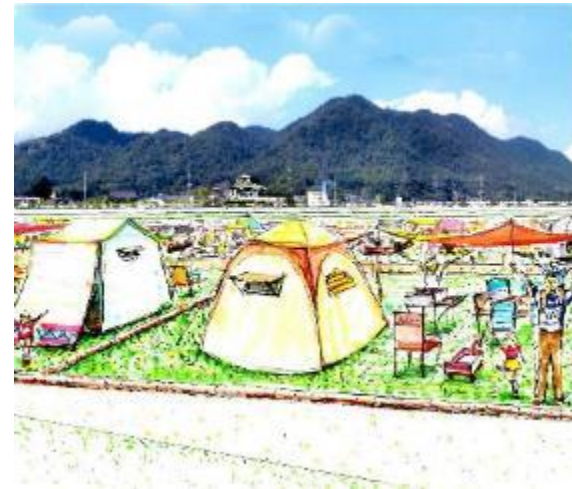
エリアを周遊できる環境構築, 観光客の滞在時間を長くする取り組み, 豊かな自然資源を活用する取り組みとして, 道の駅「山陽道やかげ宿」の南側に位置する小田川・嵐山において, アウトドアアクティビティ施設を整備している。本交付金事業において, 令和6年度に以下の業務委託及び造成工事を実施した。

【業務委託】

- ・ビオトープ詳細設計
- ・地質調査業務委託
- ・開発許可申請書作成業務委託
- ・ユニットキャンプサイト基本設計及び実施設計業務委託

【工事】

- ・アウトドアビジターセンター造成工事(その1)



キャンプ場イメージ図

①交付金事業の重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)の名称	事業開始前		R6年度	備考
①町内年間観光入込客数【人】	300,000	KPI	370,000	—
		実績値	554,709	—
②町内年間宿泊者数【人】	6,150	KPI	8,200	—
		実績値	7,930	—
③アプリの利用者数【人】	0	KPI	350	—
		実績値	199	※予約サイト利用者数

実績値(令和6年度)の評価…地方創生に非常に効果的であった。

町内の自然を生かした新たなアウトドアコンテンツの情報発信により、当町の認知度向上及び来訪者の増加につながった。さらに、周遊促進による地域の活性化につながった。

なお、KPIのうち、町内年間宿泊者数及びアプリの利用者数は目標に達しなかったが、町内観光入込数は約150%で達成しており、近隣や首都圏に向けたプロモーションやイベント実施の効果がみられる。

②矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業

【申請者】 矢掛町

【事業期間】 令和6年度～令和7年度

【事業費】 1,190,000千円(補助率:1/2)

【現状と課題】

課題① 観光客層の偏在(中高年層)と観光消費額の伸び悩み

本町における宿泊観光客の観光消費額が伸び悩んでいるとともに、アウトドアの需要が高い若年層に対して魅力的な新しい観光コンテンツが求められている。

課題② アウトドアによる集客と重要伝統的建造物群保存地区エリアの連携の地理的な課題

観光消費額が高い体験型の観光コンテンツを本町の柱である重要伝統的建造物群保存地区エリアで提供することは難しく、集客が好調である既存施設の亀島キャンプ場の利用は観光消費に繋がっていない。

課題③ アウトドアアクティビティの商品化と受入体制の構築

近年の本町におけるアウトドアブームにより広がった観光需要の間口を効果的に活用するため、アウトドア体験をサポートする拠点の整備が求められている。

②矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業

【目指す将来像】

本町の豊かな自然資源を活用した新しい賑わい創出を目指し、令和3年5月に河川管理者の岡山県をはじめ、商工団体や住民といった関係者で構成された矢掛町小田川(嵐山)かわまちづくり協議会を開催し、町中心部を流れる小田川の水辺と隣接する歴史的町並みが残る重伝建エリアをセットで活用した取組を進めることとし、令和4年8月に国土交通省の「かわまちづくり計画」の登録を受けた。

同計画では、本町の観光の玄関である道の駅の南側を流れる小田川の対岸に、初心者も体験しやすいユニットキャンプを有したオートキャンプ場や初心者体験用の水上アクティビティ、水辺の生物を身近に観察できるビオトープ、水辺の自然環境を楽しむことができる親水広場といった施設を整備する計画となっている。

本町の観光の中心を担う矢掛商店街に隣接する立地を活かした街中でのアウトドアというこれまでにない取組により、本町がこれまで推進してきた観光施策にアウトドアという切り口を加えることで若年層の観光客を獲得し、観光客数並びに観光消費額のさらなる増加を目指す。

【整備内容・利活用方策】

「道の駅山陽道やかげ宿」の南に面した小田川を挟んで、国土交通省のかわまちづくり計画に登録されたエリア内にアウトドアアクティビティ拠点施設を整備し、町内のアウトドアアクティビティの情報発信、活動拠点とするとともに、道の駅には設置していない物販や飲食スペースを設けたりする等、やかげまるごと道の駅としての機能強化を図り、重要伝統的建造物群に指定された古い町並みとの融合により、新しい観光客層の獲得を目指す。

②矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業

【事業内容】

○施設整備事業

- ・(仮称)やかげ町アウトドアビジターセンター実施設計(R6年度)
- ・(仮称)やかげ町アウトドアビジターセンター建築工事, 施工監理(R7年度)

○効果促進事業(ハード)

- ・ビジターセンター用地造成詳細設計, 用地造成工事(R6年度)
- ・ビジターセンター用地造成工事, 駐車場整備, 外構工事,
Wi-Fi環境整備工事, 駐車場満空表示システム整備工事(R7年度)



【先導性に係る取組】

- 自立性: アウトドアツーリズムの運営体制の構築に加え, 計画エリアの施設使用料, アクティビティ体験料, 飲食, 物販等による収益を見込んでいる。
- 官民協働: やかげDMO, 株式会社やかげ宿, 株式会社モンベル(令和4年8月に包括連携協定締結), 地元農業者
- 地域間連携: 岡山県, 高梁川流域連盟, 倉敷市, 井笠広域観光協会
- 政策・施策間連携: しごと創生, 農業, 教育, 健康増進, 地域経済, 働き方改革

【数値目標】 ※目標値: 供用開始年度から5か年分までのKPI増加分の累計

◆地域における観光消費額	R4年度: 16.35億円	→	目標値: +2.7億円
◆矢掛町年間観光客入込客数	R4年度: 555千人	→	目標値: +73.3千人
◆アクティビティ拠点施設への年間来場者数	R4年度: 0千人	→	目標値: +73.3千人
◆若年層来場者数	R4年度: 0千人	→	目標値: +36.65千人

②交付金事業の重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標(KPI)の名称	事業開始前		R6年度 増加分	備考
①地域における観光消費額【億円】	16.35	KPI	0	
		実績値	0.32	
②矢掛町年間観光客入込客数【千人】	555	KPI	0	
		実績値	26	
③アクティビティ拠点施設への年間来場者数【千人】	0	KPI	0	
		実績値	0	令和8年度供用開始予定
④若年層来場者数【千人】	0	KPI	0	
		実績値	0	令和8年度供用開始予定

実績値(令和6年度)の評価…地方創生に相当程度効果があった

本事業で整備する施設の供用開始は令和8年度であるが、推進交付金事業やその他地域再生法の支援によらない独自の取組(DMO運営支援事業及び賑わい創出イベント事業等)の効果により、KPI①及びKPI②については達成となった。

令和7年度及び供用開始後においても、推進交付金事業やその他関連事業と連携しながら、将来像の実現を目指す。

③広域連携拠点施設(熱利用施設)整備事業

【申請者】笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町

【事業期間】令和6年度～令和8年度

【事業費】1,637,550千円(補助率:1/2) (矢掛町分:【事業費】139,515千円)

【現状と課題】

3市2町は急激な生産年齢人口の減少と高齢化率の上昇を要因として以下の4つの課題に直面している。

課題① 健康寿命の延伸

生涯現役社会の実現のため、健康への投資を促進し、高齢世代の活力向上や健康寿命の延伸が必要。

課題② 新たなコミュニティの形成

団地の高齢化や女性の就業率の増加に伴う地域コミュニティの衰退と、住民同士の交流の場の減少。

課題③ 交流人口の拡大

人口減少に伴う労働生産性の低下や個人消費の減少への対策として、交流人口による流入消費額を増やすことが必要。

課題④ 学校施設の老朽化と水泳授業における課題

学校施設、特に利用期間が限定されるプールの更新や長寿命化の財源確保が大きな課題となっている。

③広域連携拠点施設(熱利用施設)整備事業

【目指す将来像】

急激な人口減少局面において各市町が財政上厳しい状況に置かれる中で自治体の枠を越えた広域連携の推進により効率的・効果的な行政運営を行うとともに、人口減少局面においても活気ある地域をつくり維持するため、住民一人一人が生涯を通じて健康でアクティブに活躍できる地域「生涯活躍のまち」を目指す。本事業を通じて、「健康」と「コミュニティ増進」という側面から井笠圏域全体の魅力を向上させ、圏域への人の流れの創出(UIJターンの増加)に繋げる。

【整備内容・利活用方策】

本施設は隣接地で運営中の新ごみ焼却施設から発生する熱を供給し、温水プールや温浴施設等の熱源として利用する。圏域域内企業の健康経営のサポートを行うほか、子ども達が天候に関わらず運動できる場を提供する。

③広域連携拠点施設(熱利用施設)整備事業

【事業内容】

- 施設整備事業
 - ・基本設計及び実施設計(R6年度)
 - ・建築工事, 建築設備工事及び工事監理(R7, R8年度)
- 効果促進事業(ハード)
 - ・外構工事, 熱利用設備工事(R7, R8年度)
- 効果促進事業(ソフト)
 - ・備品等設置(R8年度) ・開業準備(R8年度)



【先導性に係る取組】

- 自立性: ZEBready実現による建物の消費エネルギーの軽減, 利用料金収入及び自主事業収入, 広告料収入, 経済効果
- 官民協働: 健康経営普及の取組(3市2町×協会けんぽ×地元企業×SPC) ほか
- 地域間連携: 連携中枢都市圏に基づく取組における本施設活用 ほか
- 政策・施策間連携: 環境分野, 防災分野, 教育分野, 商工振興分野, 農林振興分野, 医療分野

【数値目標】 ※目標値: 供用開始年度から5か年分までのKPI増加分の累計

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ◆3市2町のUIJターン者数 | R5年度: 525人 → 目標値: +114人 |
| ◆3市2町における健活宣言企業数 | R5年度: 160社 → 目標値: +29社 |
| ◆圏域内観光拠点(笠岡市及び矢掛町の道の駅)入込客数 | R5年度: 918千人 → 目標値: +121千人 |
| ◆本施設の年間利用者数 | R5年度: 0百人 → 目標値: +1,141百人 |

③交付金事業の重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標(KPI)の名称	事業開始前		R6年度	備考
①3市2町のUIターン者数【人】	525	KPI	5	
		実績値	-88	3市2町:437人(うち矢掛町:18人)
②3市2町における健活宣言企業数【社】	160	KPI	4	
		実績値	16	3市2町:176社(うち矢掛町:17社)
③圏域内観光拠点(笠岡市及び矢掛町の道の駅)の入込客数【千人】	918	KPI	7	
		実績値	-72	3市2町:845千人(うち矢掛町:144千人)
④本施設の年間利用者数【百人】	0	KPI	0	
		実績値	0	3市2町:- (うち矢掛町:-)

実績値(令和6年度)の評価…地方創生に相当程度効果があった

設計協議においては、施設整備計画の実現に向け、利用者動線の向上やライフサイクルコストの低減が図られる施設となるよう検討を重ねた。また、交流広場や足湯スペースの配置を見直し、交流人口の拡大が図られる平面計画に変更することで、敷地の有効活用を図ることとした。

令和6年度は事業の本格実施期ではないことから、交流人口及び定住人口への大きな影響がみられず、KPI①及びKPI③の達成に至っていないものの、見直しは行わないものとする。

④矢掛町まち・ひと・しごと創生推進事業（企業版ふるさと納税の活用）

【令和6年度実績】 現金 5社 37,500,000円
物納 3社

区分	入金日	企業名	本社所在地	金額(寄付物品)	充当事業
現金	R6.4.5	大黒天物産(株)	倉敷市	5,000,000	まち・ひと・しごと創生事業(かわまち事業)
	R6.4.22	(株)バイクプラザヤマノ	倉敷市	10,000,000	まち・ひと・しごと創生事業(小児医療費)
	R6.12.27	非公表	広島市	5,000,000	まち・ひと・しごと創生事業(かわまち事業)
	R6.12.17	非公表	津山市	500,000	まち・ひと・しごと創生事業(かわまち事業)
	R7.1.31	大黒天物産(株)	倉敷市	10,000,000	まち・ひと・しごと創生事業(かわまち事業)
	R7.2.5	非公表	岡山市	2,000,000	矢掛高校魅力化事業
	R7.3	非公表	広島市	5,000,000	まち・ひと・しごと創生事業(かわまち事業)
物納	R6.4.10	(株)モンベル	大阪市	コットンタオル	合併70周年記念事業
	R6.12.24	(株)大塚商会	東京都千代田区	防災備品	防災事業
	R7.2.5	アサヒ物産(株)	兵庫県加古川市	クロワッサン鯛焼き	子育て事業

④交付金事業の重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)の名称	事業開始前		R6年度	備考
健康寿命(歳)	男性80.4歳 女性83.5歳 (R3)	KPI	男性 80.8歳 女性 84.8歳	
		実績値	男性 80.4歳 女性 84.4歳	
将来の夢や希望を持っている 児童(小6)の割合	77.40% (R3)	KPI	79.48%	
		実績値	84.10%	
町内年間観光入込客数	33.4万人 (R3)	KPI	38.48万人	
		実績値	55.5万人	

実績値(令和6年度)の評価

企業版ふるさと納税の活用により、矢掛町まち・ひと・しごと創生推進事業を促進することができた。今後は、矢掛町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた事業及びKPIを基に事業を実施していく。